

令和2年度第3回麒麟のまち創生戦略会議 議事概要

日 時：令和3年2月16日（火）午後3時～3時57分

場 所：鳥取市役所7階議会全員協議会室

出席者：鳥取市長、鳥取市副市長、岩美町長、若桜町長、智頭町長、八頭町長、香美町長、
新温泉町長

1 開 会 鳥取市長あいさつ

2 議 題

議事事項

(1) 令和3年度地方創生推進交付金を活用した連携事業について **資料1**

(質疑なし)

(2) 日本遺産「麒麟のまち推進協議会」の取組状況について **資料2**

《八頭町長》令和3年度までは支援が手厚いとのことであるが、事業内容の手応えはいかがか。今後、令和4年度以降の取組が尻すぼみになってはいけないので、各市町が応援していかなければいけないのではないかと。

《事務局》この2年間の取組を進めてきた中で、日本遺産をきっかけに新しい動きが出てきた。日本遺産について話を聞かせてほしいであるとか、麒麟獅子舞を披露してもらいたいであるとか、民間企業からの日本遺産の関係での連携の声掛けなど、地域における動きが出てきたと感じている。残念ながら、コロナウイルス感染症の関係で、外に打って出るPRや、マスコミ関係者等を招聘したモニターツアーが実施できていない。コロナ終息後の観光需要の回復を想定しながら、それらに向けた取組をしてみたい。3年目は、この取組の仕上げとしてプロモーション活動や麒麟獅子舞の担い手育成などに取り組みたい。

《副市長》麒麟獅子舞だけではなく、31の構成文化財によるストーリー全体が日本遺産であるので、各町の意向を伺いながら構成文化財をPRしていく取組もしていきたい。

(3) 因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョンの事業の取組状況 **資料3-1** 事業の見直しについて **資料3-2**

《八頭町長》資料3-2の公設卸売市場の関係で、令和7年に全面供用開始とのこと。事業についての記載はどういった内容なのか。またKPIについては、令和4年度に73億円余りを見込んでいるが、これらは何を基に記載されているのか。さらに、関係町の役割については、広報などの取組の記載があるが、いかがか。

《事務局》今年度（令和2年度）、鳥取市公設地方卸売市場の再整備の方針を示した経営戦略を策定し、戦略の中で今後の事業費について概算を示しているが、ここでの記載は、経営戦略を策定の費用である。

KPIの取扱高については、年々減少傾向にあり、令和元年度の水準を維持する

ことを目標に設定をしている。

《副市長》時代が変わり広域連携の取組が進んできたことや、道路が整備されたことで、物流が変わってきた。従来は市単体の公設地方卸売市場であったが、圏域の生産者の方に、活用いただけるようにしたいと考えている。各町におかれては、広報をしていただき、各生産者とのマッチングに御協力をいただきたい。

3 その他

新型コロナウイルスワクチンの接種体制構築に係る市町間の連携について

《若桜町長》若桜町の場合は医療機関が少なく、通常の診療をされる中で、現在、木曜日と土曜日の週2回しか接種ができない状況である。特に高齢者の接種については、集団接種を行いたい、医師・看護師の派遣について検討いただきたいと思っている。65歳以下については、広域で接種ができるような体制をお願いしたいと思っており、検討いただきたい。

《事務局》高齢者の集団接種に対する医師・看護師の派遣等については、実際は東部医師会の対応が必要になる。鳥取市以外に、八頭町からも医師の派遣依頼があると伺っている。実務レベルで計画上不足する医師数等を把握いただき、鳥取市保健所も一緒にお話をさせていただこうと思う。また、65歳以下の接種については、しっかりと課題を拾いながら、1市6町で検討して参りたい。

《八頭町長》4月から65歳以上の接種がほぼ決まっており、十分な時間がないと思う。担当者等で、話をされていると思うが、スピード感のある対応をお願いしたい。

《副市長》皆が初めてのことであり、手探り状態から、意見交換が始まっているが、この中で知恵も出てくると思われる。65歳以上の接種が始まれば、具体的な気づきが出てきて、またそれを進化していくということが必要だと思う。

《岩美町長》本圏域は県をまたぐところが特殊で、県においてワクチンの調整が上手くいくのかということが一番心配している。市町村に配付されたワクチンによって接種する仕組みであるので、県をまたぐ場合の調整の部分について、実務レベルでしっかりと協議をし、県への協力をお願いしていくということになると思う。

《事務局》現在は何も決まっていない状況ではあるが、鳥取県健康政策課の方にも情報提供をしており、鳥取県・兵庫県とも情報共有しながら進めて参りたい。

《香美町長》麒麟のまちの圏域での対応とのことで、香美町にも配慮いただいている。香美町住民においても、鳥取市内の病院に入院されていたり、かかりつけ医が鳥取市内であったりというようなことが考えられる。若桜町と同様で、香美町も開業医が少なく、現在、個別接種と集団接種との比率の想定や、集団接種の医師の確保について苦慮しており、八鹿病院への協力体制のお願いもしているところである。今後、スケジュールや計画が決まっていく段階で、鳥取県東部医師会の先生方に対応いただける余裕があれば、集団接種への医師派遣についてお願いできないものか、可能性を教えてください。

《事務局》東部医師会のお気持ちがあり、我々行政のみで判断できるものではないが、鳥

取市保健所と一緒に協力をお願いに伺うことは可能である。実際にスケジュールを組む中で、医師の不足数が分かれば情報共有をして、医師会へのお願いについて、一緒に対応させていただくよう検討していきたい。

《副市長》ワクチン接種については、今後も全国的に継続していくことが想定される。今後、対応していく中で、助け合いの知恵が出てくると思う。また、医師会へお伝えしていくことも必要であり、一緒になって取り組んでいきたいと思う。

《鳥取市長》いろいろな御意見をいただき、感謝申し上げます。ワクチン接種について、誰もが初めてのことではあるが、圏域の住民の皆さんの安全を守っていくことが、我々の使命であると考えます。生活圏を一つにしている圏域で、勤務先やかかりつけ医が市町村をまたがるという状況は全国にも数多くあると思われ、都道府県単位や市町村単位のみでの取組では、なかなか上手くいかないと考えています。まだ、国からの情報が十分ではないが、我々が知恵を絞って一つひとつ課題解決をしていけば、可能なことがあると思っています。現在、東部医師会さんへのアンケート調査等を実施しており、集団接種で協力可能であるとか、個別接種で協力可能であるとか、看護師の派遣対応が可能であるとかいったことを伺っている。今後、調査結果をいただき、体制構築をしていく上で、参考にしていく。国が示しているようなスケジュール感でワクチン接種を進めていくことは難しいのではないかと考えているが、取組をしっかりと詰めていく必要があると思っています。これからもこの圏域で、協力を図りながら、課題に対応していきたいと思っていますので、よろしくごお願い申し上げます。

4 閉 会